

日計表

日計表では、得意先ごとの受注、売上、粗利、入金額を日別に集計し、画面で確認したり、エクセルに出力したりできます。

1) 指示画面内容 補足

指示画面の項目で、画面の表記内容だけではわかりにくい項目を以下に説明します。

① 伝票日付

集計する伝票日付の期間を選択します。
システム日付の当月の1日～末日が自動表示されます。

② 集計項目

選択項目の中から、日計を出力したい項目を選択します。
選択した項目は右側の選択済項目に表示されます。
一度に6項目まで選択可能です。
※ 粗利は売上伝票の売上金額と原価の差額を表示します。

2) 詳細設定画面内容 補足

③ 得意先、仕入先、商品、商品名

伝票によっては指定しても無効なものがあります。(例:仕入出力時に得意先を指定する)
得意先…受注、売上、粗利、入金のみ有効です。
仕入先…発注、仕入、支払のみ有効です。
商品…入金、支払では無効です。指定しても絞込みには使われません。
品名…入金、支払では無効です。指定しても絞込みには使われません。

④ 伝票の部課

「伝票入力時に指定された担当者が所属する部課」が抽出の対象となります。

⑤ 税込のチェック、行毎税の表示のチェック

チェックすると各日計が税込で出力されます。
行毎税の表示チェックは税込のチェックがONのときだけチェックできます。

行毎税の表示チェックONにすると明細行毎の消費税を含む金額が表示されます。
行毎税の表示チェックONにしなければ、伝票単位での消費税を含む金額が表示されます。

「日計」表のため伝票毎税の得意先、仕入先の場合はどちらでも税込み金額は同じになりますが、請求時または支払時に消費税伝票を作成する場合は行毎税の表示チェックONのときは伝票日付、OFFのときは消費税伝票の日付(=締切日)に税額が加算されます。

また、行毎税の表示チェックをONにしていると商品の指定など、1伝票内を分割するような抜粋条件を指定した場合消費税は正しく出力されない場合があります。(消費税の按分計算により端数がずれる)
例えば伝票毎外税消費税の伝票(複数行入力)がある状態で○○商品のみを抜粋した場合、○○商品に按分した消費税しか集計されません。